

2. 指標設定

成果指標	指標名	林道整備		H27	指標の設定理由			
	数値	—			総合計画/後期基本計画において、基本施策(4-1-2)目標達成のために重要な施策となっている。			
活動指標	指標	a	県営森林基幹林道整備事業	b	森林環境保全整備事業	c		d
	数値	目標	32.115億円	目標	1.129億円	目標		目標

3. 実績（上段・実績/下段・達成率）

成果指標名	単位	H21	H22	H23
林道整備		—	—	—

活動指標名	単位	H21	H22	H23
a 県営森林基幹林道整備事業	千円	29.71 億円	31.63 億円	32.14 億円
		92.5 %	98.5 %	100.1 %
b 森林環境保全整備事業	千円	0.29 億円	1.129 億円	—
		25.7 %	100.0 %	—
c				
d				

4. 課題と対応

課題
森林整備計画に基づき、必要となる林道の整備計画を作成
対応（改善点等）
国・県の補助事業による林道整備事業の検討

5. 事業費・・・H21～H23（決算額）、H24（予算現額）

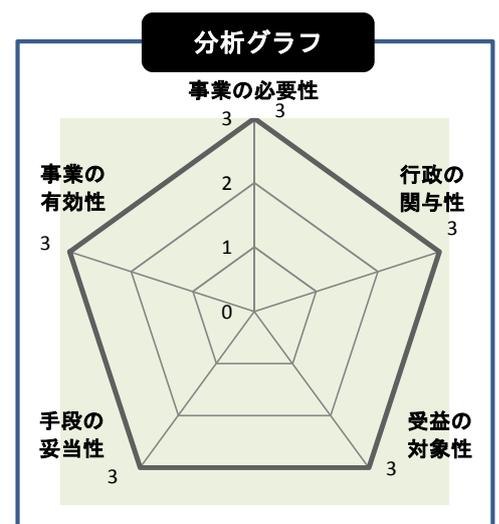
決算額（千円）		H21	H22	H23	H24
		77,407	118,299	18,027	9,900
うち経常経費		10,296	9,516	9,449	9,366
財源内訳	国費				
	県費	25,122	46,648	1,009	
	市債	36,200	34,400		
	その他				
	一般財源	16,085	37,251	17,018	9,900
うち経常		10,296	9,516	9,449	9,366
事業費に係る人件費		1,707	1,752	1,720	859

6. H25年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
総合計画で計画している林道の舗装整備は終了したが、法面保護工が未着手である。また、未舗装箇所の整備、新規路線の開設等必要な箇所について、次年度以降も継続して整備を実施する。

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 林業生産基盤の整備は、椎茸生産量、品質日本一の大分県特に本市にとって必要な事業である。
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 広域的に整備される林道は、市が事業主体である。
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3 整備された林道は、林業者だけでなく多くの通行者が使用するため公共性が高い道路である。
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 受益者が事業内容を理解し、地域全体の同意があつて事業実施となるため、複数回の説明会が必要となる。
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 林産物の安定した搬出入が可能となり経営基盤の強化が図られると判断する。



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
見直し	実施個所や効果など事業の精査検討を行うこと